

吹田市大型構造物(大型カルバート) 個別施設計画

令和5年度～令和9年度(5か年)



令和5年8月 改訂

吹田市 土木部 道路室

1 道路メンテナンスについて

吹田市が管理する道路構造物は、橋梁や道路舗装など多岐にわたりますが、建設から年数が経過し老朽化が進行しています。今後、全国的に老朽化する構造物が増加することを踏まえ、トンネル、橋梁及び大型カルバート等について、道路管理者の責任において、点検→診断→措置→記録というメンテナンスサイクルを実施するための法令改正が平成 26 年 7 月 1 日施行されました。

改正により、5 年に 1 回の頻度で、近接目視による点検を実施し、健全性の判定を 4 段階で区分して構造物の状態を把握します。本市においては、「シェッド、大型カルバート定期点検要領（国土交通省 道路局 H31.2）」、「大阪府コンクリート構造物点検要領 H28.4 大阪府都市整備部交通道路室」に準拠して点検を実施します。点検結果に基づく健全性の診断結果については、「トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示（平成 26 年 3 月 31 日公布、7 月 1 日施行）」により下表の区分に分類します。

区 分		状 態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

2 対象施設

吹田市が管理する以下の大型カルバート 3 箇所を対象としています。

大型カルバート名	開通年次	施設延長 (市管理延長)	幅員	所在地 (路線名)
岸部地下道	昭和 46 年 (1971 年)	322m (176m)	7.5m × 2 断面	岸部中 3 丁目～岸部南 1 丁目 (岸部中内本町線)
吹田片山地下道	平成 10 年 (1998 年)	146m (90m)	7.5m	片山町 1 丁目～昭和町、朝日町 (片山高浜線)
南吹田地下道	平成 31 年 (2019 年)	94m (94m)	7.5m	南吹田 1 丁目～南吹田 3 丁目 (南吹田 17、89 号線)

3 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は5年間としています。

ただし、定期点検の結果を反映するため、計画の見直しをすることがあります。

前回の点検は、令和4年度に実施しています。次回は、令和9年度に点検を行う予定です。

4 対策の優先順位の考え方

吹田市では、規模や重要度等の異なる様々な道路構造物を管理しています。限られた予算の中で効率的・効果的に管理するため、定期点検結果に基づく健全度の数値のほか、道路種別やカルバート上施設等の評価指標により、構造物ごとに優先順位をつけ対策を実施することにより、維持管理の最適化を図ります。

優先度	評価指標
優先度 高 優先度 低	健全度
	道路種別
	カルバート上施設
	緊急交通路
	交通量
	代替路までの距離
	建設年次

5 短期的な目標

（集約化・撤去）

吹田市が管理する大型カルバートは、緊急交通路を構成する重要な幹線道路であること、また、適当な代替路線や迂回ルートがないため、集約化・撤去の計画は現在のところありません。

（新技術の活用）

令和9年度までに、管理する全ての大型カルバートについて、修繕や点検等に係る新技術等の活用の検討を行うとともに、費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術等を活用することを目指します。

(費用縮減)

令和 9 年度までに、修繕や点検の実施にあたり、費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術等を活用することで、修繕や点検における費用を約 1 割程度縮減することを目指します。

6 施設の状態

前回の点検（令和 4 年度）結果を以下に示します。

大型カルバート名	区分	所見
岸部地下道	Ⅱ	頂版、側壁にひび割れ、遊間部に取付ボルトのゆるみ、漏水が見られる状態であり、予防的対策が望ましい
吹田片山地下道	Ⅱ	頂版にひび割れ、側壁に遊離石灰を伴うひび割れが見られる状態であり、予防的対策が望ましい
南吹田地下道	I	構造物の機能に支障が生じていない状態

7 対策内容と実施時期

大型カルバート名	令和 5 年度 (2023 年度)	令和 6 年度 (2024 年度)	令和 7 年度 (2025 年度)	令和 8 年度 (2026 年度)	令和 9 年度 (2027 年度)
岸部地下道					点検
				ひび割れ補修、 断面修復 12,000 千円	はく落防止、 漏水対策 12,000 千円
吹田片山地下道					点検
	はく落防止 12,000 千円	はく落防止 12,000 千円	はく落防止 12,000 千円		
南吹田地下道					点検
対策費用合計	12,000 千円	12,000 千円	12,000 千円	12,000 千円	22,000 千円